

報道発表資料の配付日時 1月15日（月）15時00分

| | | | |
|------------------|--|------|------|
| 発表項目 (行事名) | 令和5年度職員カイゼン提案に係るカイゼン賞表彰式の実施について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | | 発表場所 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 道では、Smart道庁の推進に当たり、「職員カイゼン提案実施要領」に基づき提案のあった<u>実践事例</u>から、優良事例を<u>カイゼン賞として表彰</u>します。 ○ カイゼン賞の選定にあたっては、道民サービスの向上や他の所属での汎用性、効果や効率性などの観点で、Smart道庁推進本部による審査に加え、職員投票（1125票）を実施し、評価の高い4つの事例を「最優秀カイゼン賞」（1事例）、「優秀カイゼン賞」（3事例）として決定しました。 ○ この度、受賞者に対する表彰式、プレゼンテーション及び意見交換を次のとおり実施しますので、お知らせします。 | | |
| | <p style="text-align: center;">記</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 1 日時 令和6年1月17日（水）14:00～15:00 2 場所 道庁本庁舎3階 知事会議室 3 内容 (1) 賞状授与、写真撮影 (2) 受賞者による事例のプレゼンテーション (3) 濱坂副知事との意見交換 </div> | | |
| | <p>※ 受賞事例の詳細については、別添資料を参照願います。</p> | | |
| 参考 | この表彰は、昨年度より取組を始めたもので、業務改善提案のモチベーションを向上するため運用を開始することとしました。 | | |
| 報道（取材）に当たってのお願い | 「Smart道庁」の取組は、職員の働き方を変えて、道民サービスの質の向上に繋げていくことを目指すものであり、より多くの方々に知っていただけるよう、積極的な報道をお願いします。 | | |
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 | (場所) | |
| | 同時レク | | |
| 担当 (連絡先) | 総務部行政局改革推進課（担当者：宮下） TELダイヤルイン 011-204-5002（内線22-439） | | |

最優秀カイゼン賞

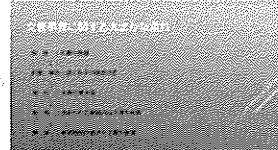
根室振興局保健環境部保健行政室

係長 田部 剛士 ほか1名

「新規採用職員を対象にした研修の動画配信について」

ポイント

事務を完了させるまでの全体像（イメージ）を把握しやすくなり、新規採用職員が抱く不安感の解消に繋がった。



「文書の収受から施行」までを例にした動画を作成

事務が完了するまでの全体像（イメージ）を説明

優秀カイゼン賞

総合政策部知事室広報広聴課

係長 笠行 崇志 ほか3名

「報道発表資料の電子データ化及び電子メールでの配付について」

ポイント

記者クラブ各社への報道発表資料をメールで配付することで、事務作業の効率化とペーパーレスに繋がった。

他事例を調べる・試行する

- 他都府県の報道発表資料の配付方法を調査するとともに、電子メール配付に係るノウハウを入手
- 記者クラブ各社に電子メール配付に係る意向調査を実施
- コロナ関連の報道発表資料について電子メール配付を試行的に実施

課題抽出・改善案作成

- 電子メール配付の試行状況から、課題や改善点などの抽出
- 記者クラブ各社及び各部・各課等に報道発表資料の電子メール配付について意向調査を実施
- 上記の内容を踏まえ、電子メール配付の本格実施に向けた実施案を作成

最終調整・実施後回観

- 本格実施を前に、報道発表の発表時間の定時化、資料の軽量化を実施
- 記者クラブ各社との最終調整（全社が電子メール配付に賛成）
- 電子メール配付実施後も、記者クラブ各社にアンケート調査して、更なる業務改善につなげる

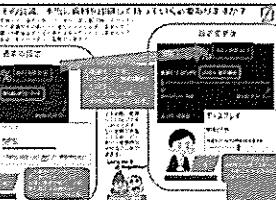
留萌振興局総務課

総務係長 五十嵐 翔太 ほか2名

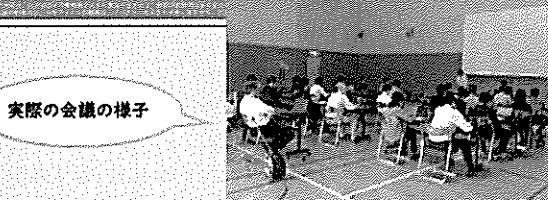
「PC設定や使用方法の改善によるペーパーレス会議等の推進」

ポイント

PCの使用方法について分かりやすい資料を作成することで、ペーパーレス会議を推進し、印刷や配布の業務がなくなるなど、事務の効率化が図られた。



会議開催にあたり、
PCの設定に関する
資料を送付



実際の会議の様子

十勝総合振興局保健環境部保健行政室

歯科医師 善徳 勇貴 ほか1名

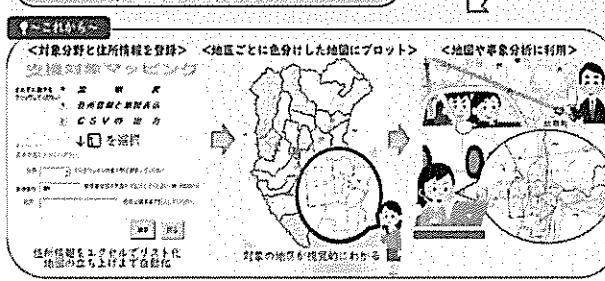
「デジタルマップを活用した地域データの見える化による業務の効率化」

ポイント

デジタルマップを作成することで場所の特定における時間短縮や分布の見える化を実現。今まで使用していた紙の地図等が不要になりペーパーレス化が可能となった。



聞き取り後、紙地図で
対象地区を判断していた



- <対象分野と住所情報を登録>
- <地区ごとに色分けした地図にプロット>
- <地図や基本分析に利用>